

景観まちづくり団体交流会

景観まちづくりワークショップ



開催概要

実施日：平成28年6月9日（木） 19：00～



みんなで考える、アイデアを出す、企画を立てる
最初の1年が始まります！

中標津町景観計画の検討段階から、団体・町民・行政の連携を深め、**“協働”による取組・活動の進め方**を考える

「景観まちづくりワークショップ」をきっかけに、
個々の取組・活動をベースにしながら、**景観まちづくり団体同士のネットワーク活動を育てていく**

- ・『景観まちづくりワークショップ』は現時点で3回の開催が確定しています。
- ・3回の開催にとどまらず、必要に応じて回数や内容を増やしていくことも想定しています。

中標津における「景観まちづくり」を育てていくプロセス

平成27年度

2/19.20
景観まちづくり
団体交流会

ステップ
アップ

平成28年度 景観まちづくりを育てていく最初の1年

景観まちづくりワークショップ
(6月～9月を目処に数回開催)

6月9日

7月28日

9月

関連

事業者・関係団体ヒアリング
(サテライトトークン)

9/10
景観
フォーラム

※活動スタッフとして関わっていただくことも大歓迎

平成29年度～

景観まちづくり
団体の継続
的なネットワ
ーク活動へ

平成27年度から2ヵ年をかけて『中標津町景観計画』を策定

計画を運用

開催場所: 中標津町役場 301号会議室

コーディネーター: 東田秀美 氏(NPO法人景観ネットワーク)

参加者: 19名(景観まちづくり団体、町内会の方々)

19:00 1. あいさつ

19:03 2. プログラムの説明

19:05 3. ワークショップの趣旨、
全体スケジュールの説明

19:10 4. 情報提供

- ・景観計画の検討状況、
- ・なかしべつ景観フォーラムの概要 など

19:25 5. 全体でディスカッション(60分)

①各活動団体の取組や活動の情報共有

②景観まちづくり活動(本日以降の活動内容やアイデア出し)について

20:25 6. 発表、ふり返し

20:35 閉会



①各活動団体の取組や活動の情報共有

→活動を共有するカレンダーづくり

②景観まちづくり活動(本日以降の活動内容やアイデア出し)について

→市街地のこと、9月フォーラムのこと etc.



①活動の共有の仕組みについて

- ・ 景観まちづくり団体交流会の会報、ホームページ、フェイスブックなど、活動を共有したり発信する仕組みがあっても良い。
- ・ 将来、「景観整備機構」など、中標津の景観まちづくりを支援するネットワーク組織があっても良いのではないかな。

②景観まちづくり団体交流会の今後の動きについて

- ・ 景観まちづくり団体交流会は、3回の開催にとどまらず、複数回の開催を予定しても問題ない。（※NPO法人景観ネットワークさんと連携して、例えば、活動の取材、ヒアリングを行うなど）

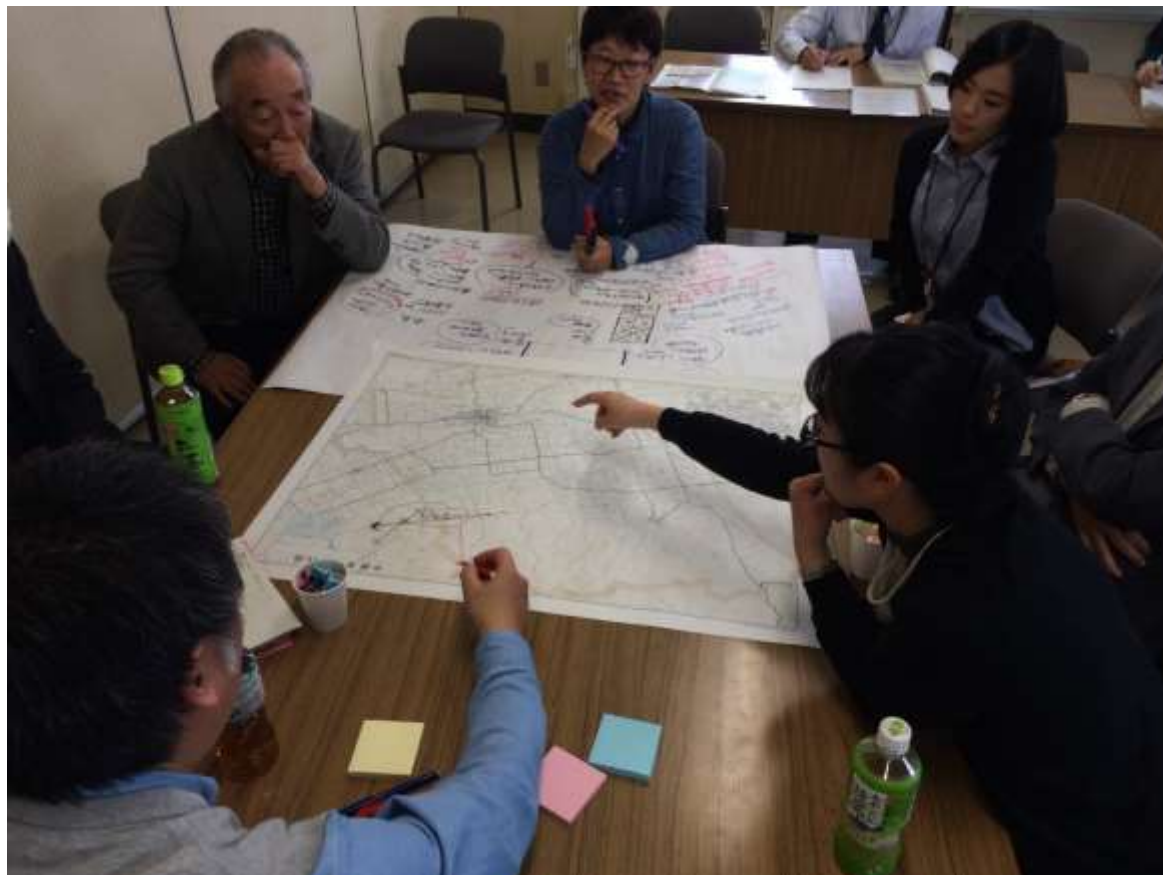
③9月フォーラムや、今後の活動アイデアについて

- ・ カレンダーに書いたものの以外にも、個人的にまだまだやりたいことがある。
- ・ 団体としての意見が必要なので、今後も考えていきたい。

参考資料
～これまでの取組～

平成27年 11/26
ワークショップの概要

『酪農景観』と『市街地景観』の2つでワークショップ
会場：中標津役場 202号会議室



農村景観

①防風林の価値について

- 見直されてきた機能・役割（防風・防雪、暮らしの安全）
- 文化・歴史的な意義深さ
- 壮大かつ希少性の高さ
- 観光や資源活用の視点
- 防風林の樹種や更新の仕方を、みんなで考えることが重要

②価値の認識や、共有の必要性について

- 価値の認識と共有
- 歴史を学ぶ機会の必要性
- 産業との調整、融和
- 事業者や町民など主体ごとの取り組みの積み重ね

③農業施設について

- 農業施設のあり方（色、形状など）
- においに対する考え方
- 市街地に近接する農業地域のあり方

④河畔林について

- 河畔林の機能、必要性
- 漁業を意識した農環境の整備

⑤お勧めの景観資源

- 【開陽台】
- 【中標津空港】
- 【農作業している風景（草刈りなど）】
- 【養老温泉】
- 【町道27線を上っていったときに見えるカラマツ林】
- 【高台から見える武佐岳】
- 【直線的な道路】
- 【裏摩周】
- 【ゆめの森公園（年間来場社20万人）、丸山公園】
- 【クテクンの滝】
- 【伝成館、白樺並木】

市街地景観

①中標津町の景観まちづくりで大切なこと(都市マスの地域別活動を題材に)

- 「見る」「知る」「学ぶ」「表現する」ことが大切
- 「表現する」被写体の例（市街地の建造物）
- 3世代交流など、人の活動がつくる景観の可能性

②歩いて楽しめるまちについて

- 花による彩り
- 歩くことを促すきっかけづくり（イベント、仕組み）
- 中心部の顔づくり（タワラマップ川の活用）

③中標津らしさについて

- 建築物の色、素材（木材の利用など）
- 中標津にふさわしい街路樹
- 緑の中で拠点となる新たなスポット
- 看板、広告物の色のルール

④まちづくりの人材育成について

- 小中学校などと協力して、緑づくりと併せて人の育成
- 個人でもできそうな継続的な取り組み
- 林業について学習
- 中標津の資源を活用したイベントなどの実施

2/19、20 なかしべつ景観フォーラムの概要

2月19日（土） フォーラム

フォーラム参加総数：114 名

会場：中標津経済センターコミュニティホール



2月19日（土） フォーラム（主なコメントなど）

小浦先生（神戸芸術工科大学教授）

- ・ 阪神淡路大震災の復興の際に緑を増やす事例として生活者・設計者・行政の協働が大切である。

森田先生（NPO法人道東動物・自然研究所理事長）

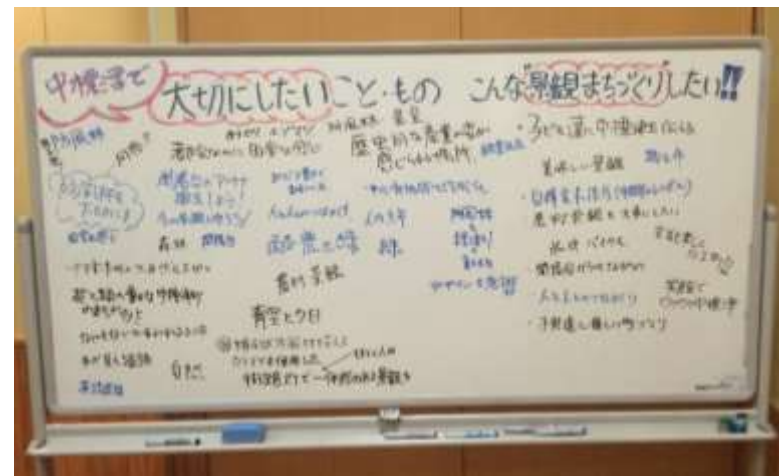
- ・ 他のまちから帰ってくるとほっとするこれは見事な景観であると改めて良さを感じる。

坂井先生（景観計画策定委員会委員長・東京都市大学教授）

- ・ 景観計画策定に向け、町民ヒアリングやワークショップを重ねて方向性を出し、住民同士、組織同士などのいろいろな協働を広めるためにたくさんの人を巻き込み、景観を守っていくことは何か起こる前に先に手を打つ、景観計画は知恵が試されている。

ホワイトボード

- ・ 「防風林・酪農風景・自然・開陽台からの眺めを後世に伝える」「都会なのに田舎な感じ」「白樺並木の保存」などがありました。



5月29日(日) 景観まちづくり団体の様々な活動

ごみゼロの日(中標津町役場)

- ・64団体(643名参加)
- ・3,690kgのごみが回収



5月29日（日） 景観まちづくり団体の様々な活動

植樹ますへの花植え(泉中央町内会)

- ・町内会の方々が参加
- ・北6丁目通りの街路樹花壇で西8条～11条までの間を花植え



5月29日（日） 景観まちづくり団体の様々な活動

寄せ植え体験(西町川西街づくり協議会) ※景観まちづくり団体交流会

- ・西町、川西町内会の方々が参加、川西町内会館前広場
- ・「寄せ植え」体験をつうじて、庭づくりに生かす

